

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 5月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について正しい理解を行い職員全体で取り組む。	身体拘束の理解をしっかり学習し拘束しないケアの実施を行う。	スタッフ全体が身体拘束の理解を深める。ミーティングなどの際にお互い確認する。	6ヶ月
2	26	日々の実践記録の充実を図る。	スタッフの個人記録のレベルアップを目指し学習会などを行う。	個人差がありすぎる為、不足な部部を説明し指導を重ね学習してもらう。	4ヶ月
3	13	職員一人ひとりの力量の差などがあり、サービスの片寄りがある。	業務内容をマニュアル化し、サービスの統一化を目指す。	職員への指導の徹底を行い、サービスの統一化を図る。	4ヶ月
4	34	応急手当や初期対応の備えが不足している。	研修などに参加し、積極的に学ぶ機会を作る。	初期対応をスムーズに行えるように基本をしっかり学ぶ機会を作る。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。